



従業員との関わり – 安全衛生・人材育成–

私たちは、安全で意欲・活力を持って働ける職場づくりと、個々の能力を伸ばす人材育成制度づくりに取り組んでいます。

■ 安全

労働安全活動

1 活動の柱

重大災害を絶対に起こさない為に『重大災害未然防止活動』の3本柱を軸に行っています。
※3本柱(リスクアセスメント、ベル活動、気づきの展開)

2 会社トップ自ら安全活動

- 1)『大豊グループ安全衛生委員会』毎月の実施。
- 2)『トップ自ら安全宣言』、『グループ会社トップ安全宣言』の実施。

3 リスクアセスメントをベースとしたハード対策

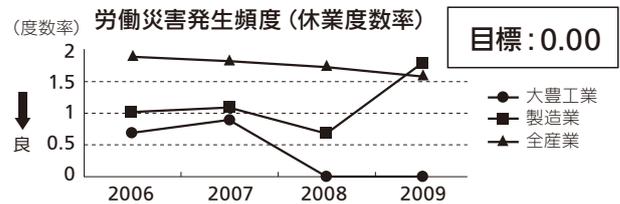
- 1)作業(動作)調査見積りからの網羅的リスク抽出
- 2)過去災害の深掘りによる徹底的な真因追求と本質対策

4 ソフト面の活動

- 1)ベル活動(リスク同定を図りながら相互診断)
- 2)新聞・ニュース等の情報から自社に置き換え対策実施

5 安全表彰制度の制定による安全活動の活性化

※ 上記項目を大豊グループとして活動



休業度数率とは休業災害の発生頻度を表したもので、右式で算出されます
$$\text{休業度数率} = \frac{\text{休業災害件数}}{\text{延べ労働時間}} \times 100万$$

※全産業、製造業の数値は2010年5月現在推定です。

□ 担当者の声



本社工場安全衛生委員
太田 順一

ベル活動を通し、製造現場・事技部門に密着し、リスクアセスメントの活用で危険への感受性を高めています。常に高い意識で本質安全対策を継続していきます。

■ 3年連続「会長賞」受賞

協協会安全衛生研究会より、2009年度は会長賞を受賞しました。休業災害ゼロ件やトップ自らの安全活動への参画が認められましたが、今後も安全活動3本柱「リスクアセスメント」「ベル活動」「気づきの展開」を重点に実施していきます。



■ 健康増進活動

目的	活動内容
メタボリックシンドローム予防	・大豊特保プログラム 165名参加
禁煙対策	・毎月0のつく日の敷地内禁煙の実施 ・脱タバコ作戦 43名参加 → 15名達成
運動習慣の促進	・ヘルスマチャレンジ活動 92%参加 → 52%達成
健康に関する知識の習得	・リスナー教育 ・大豊特保プログラム



大豊特保プログラム

■ 人材育成

当社ではOJTを人材育成の基本としています。OJTを効果的に推進するために、さまざまな教育・研修を実施しています。

全社教育一例

【階層別教育】

各階層毎に求められる知識・技能の習得、および役割認識教育を行っています。

【自己啓発支援】

業務上必要な知識・専門スキル等の習得を目指す社員に対し、支援を行っています。



管理者教育の様子

国内大豊グループQC大会

小集団活動の活性化と人材育成を目的とした、国内大豊グループQC大会を開催しました。本年は国内大豊グループ全体から選ばれた代表の7サークルが発表しました。



国内QC大会の様子